

<ウイークエンド・セミナー>



# メキシコの経済と市場動向

～ ラテンアメリカのフロントランナー ～



メキシコ市中央広場(ソカロ)

平成21年9月4日  
株式会社SBI証券  
投資調査部

# 1. 北米大陸の有力中進国

【国名】メキシコ合衆国 (Estados Unidos Mexicanos)

【首都】メキシコシティ (人口約2000万人/2240mの高地)

【人口と言語】1億631万人 (2008年/IMF)、スペイン語

【面積】197万平方キロメートル (日本の約5.3倍)

【GDP】1兆881億米ドル (2008年/IMF)

【1人当たりGDP】1万235ドル (2008年/IMF)

【歴史】\* 14世紀初頭にアステカが先住民大帝国を築く

\* 1519年、スペインがユカタン半島に上陸して征服

\* 1810年、メキシコ独立革命が勃発し1821年に独立

\* 1846年米墨戦争に敗北しテキサス、カリフォルニアを失う

\* 1968年、「中南米初」のオリンピック開催

\* 1982年、債務危機発生

\* 1994年NAFTA (北米自由貿易協定) 発効、OECD加盟、  
チアパス農民一揆などを発端に「メキシコ通貨危機」発生

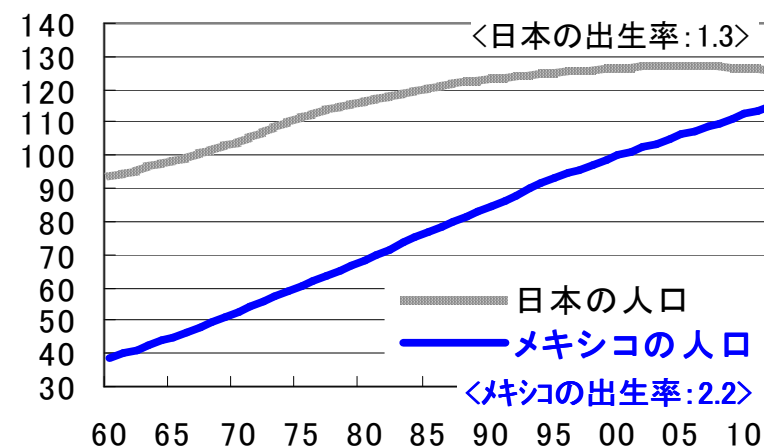
\* 2000年、71年振りに与党PRIから野党PANに政権交代

\* 2006年、フェリペ・カルデロン大統領就任 (PAN出身、  
米ハーバード大学行政学修士号、任期～2012年11月)

## ＜メキシコの概要＞



(百万人) メキシコの人口推移 (日本との比較)

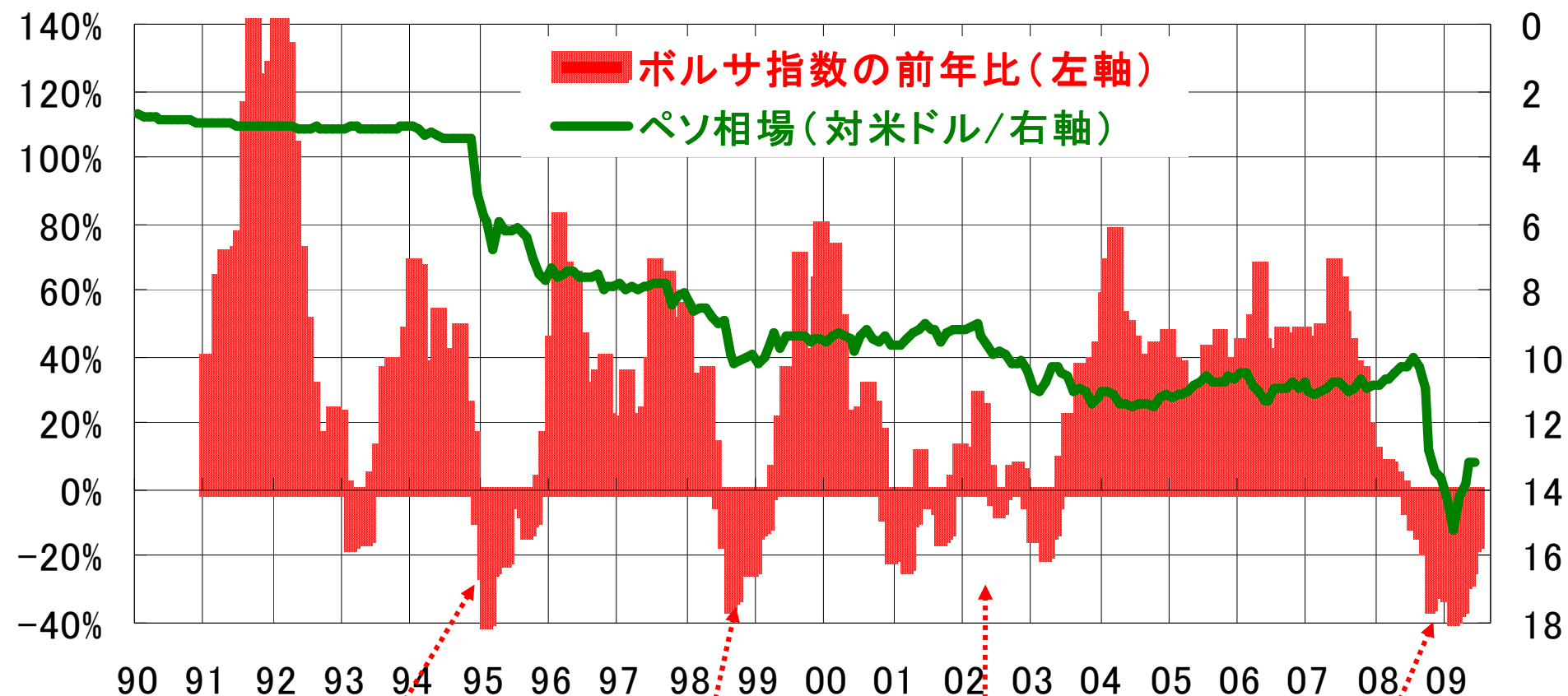


(出所)JAICA、外務省資料、IMFデータなどからSBIが作成

## 2. 為替市場と株式市場の長期動向

### 株式市場と為替市場(ペソ相場)の方向性には相関性も

(前年同月比)      **メキシコの株価とペソ(対米ドル)相場の長期推移**      (ペソ/\$)



94～95年:「テキーラ・ショック(通貨危機)」  
 <農民一揆、大統領候補暗殺、経常収支悪化>

ロシア危機発  
 新興国市場急落

米・景気後退  
 <米ITバブル崩壊、同時テロ>

「リーマン・ショック」発  
 グローバル・リセッション

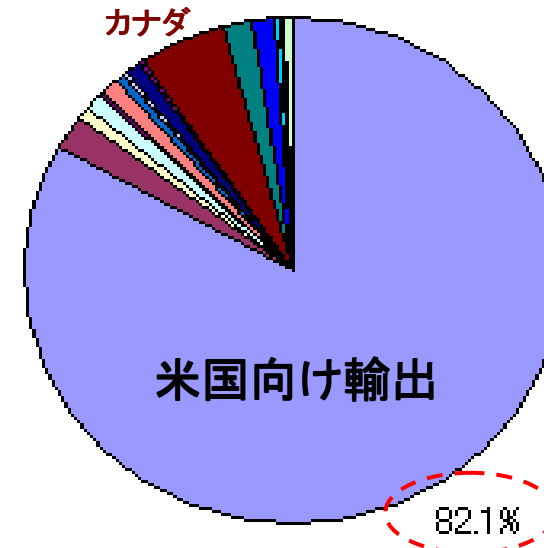
(出所)Bloomberg

### 3. 対米輸出をコアとする製造業基地国

#### 対米国・カナダ向け製造業の拠点、石油も外貨獲得源に

メキシコの輸出動向 (金額:100万ドル)	ウエイト (%)	
	2007年	
農林業	6,213	2.3%
牧畜・水産業	1,222	0.4%
鉱業	44,755	16.5%
原油	37,937	14.0%
製造業	219,685	80.8%
電気・電子機器	64,560	23.7%
うちカラーテレビ	18,620	6.8%
フラットパネル型	16,866	6.2%
携帯電話	7,068	2.6%
自動車・同部品	56,118	20.6%
乗用車	18,685	6.9%
産業用機械機器	28,684	10.6%
輸出総額	271,875	100.0%

輸出における  
国別構成比(%)



- 米国
- カナダ
- ブラジル
- コロンビア
- チリ
- ベネズエラ
- 中国
- 韓国
- 日本
- マレーシア
- シンガポール
- タイ
- 台湾
- EU27
- ドイツ
- スペイン
- フランス
- イタリア
- 英国

◎メキシコは伝統的な水産業や観光業の他、自動車、エレクトロニクス(家電)、製鉄、製塩、ビール、銀などの生産や輸出が盛んです。また国内油田が多く、石油(最大手企業:ペメックス)が大きな外貨獲得源になっています。

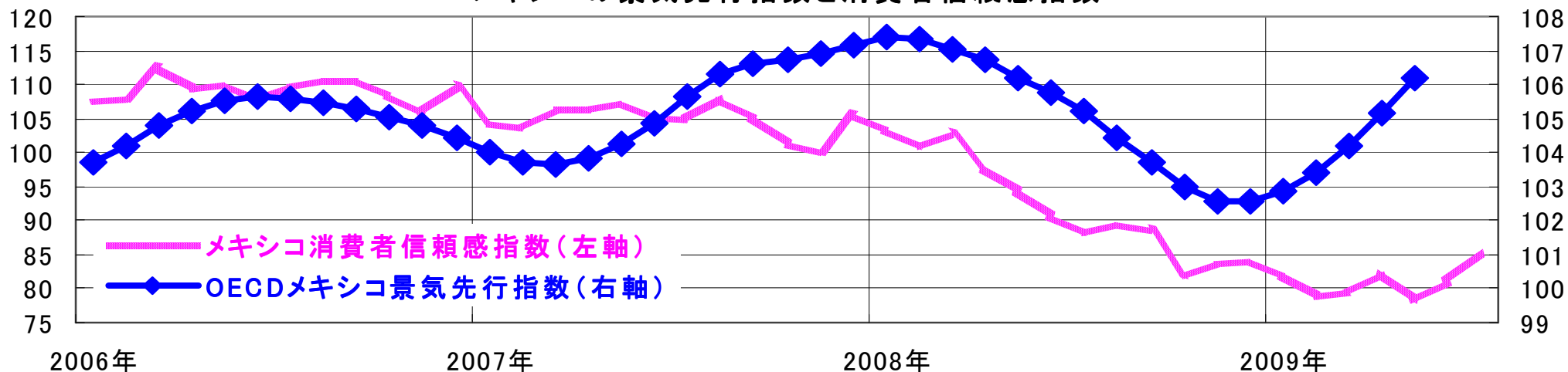
◎メキシコは「太陽の国」とも呼ばれますが、地理的メリットを生かした太陽光発電の普及にも注力。2050年までに温室効果ガスの排出を5割削減する方針です。

(出所)JETRO(日本貿易振興協会)資料などをもとにSBI証券が作成

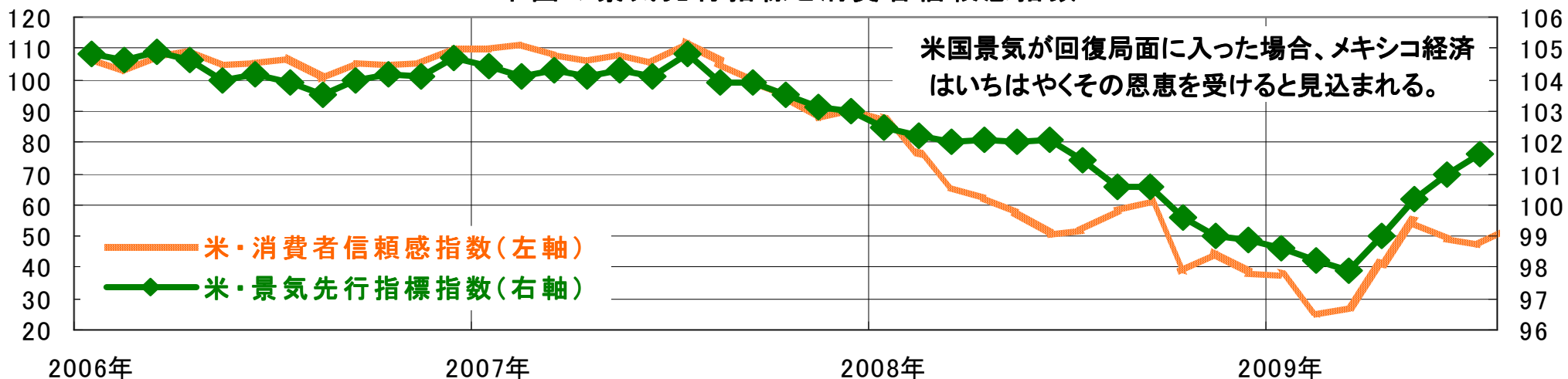
# 4. 米国と連動しやすいメキシコ景気

米国の景気持ち直しはメキシコ経済の最大の好材料に

メキシコの景気先行指数と消費者信頼感指数



米国の景気先行指標と消費者信頼感指数



(出所)Bloomberg

## 5. メキシコの経済・金利動向(実績と市場予想)

メキシコ経済は来年に向け回復トレンドを鮮明に

### メキシコ経済・金利動向(暦年動向)

実績と市場予想平均	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
実質GDP(前年比:%)	3.4	4.0	3.2	5.1	3.3	1.3	-7.0	2.6
消費者物価指数(前年比:%)	4.6	4.7	4.0	3.6	4.0	5.1	4.5	3.7
経常収支(GDP比:%)	-1.04	-0.67	-0.52	-0.46	-0.82	-1.57	-1.9	-2.1
公的債務(GDP比:%)	22.1	20.7	20.7	20.5	21.0	24.5	n.a.	n.a.
中央銀行・政策金利(%)	6.12	8.75	8.27	7.02	7.57	8.34	4.50	4.75
10年物国債利回り(%)	8.72	9.83	8.27	7.44	8.17	7.99	7.67	8.05
為替相場(ペソ/米ドル)	11.23	11.15	10.63	10.80	10.90	13.67	13.00	12.50

### メキシコ経済・金利動向(四半期動向)

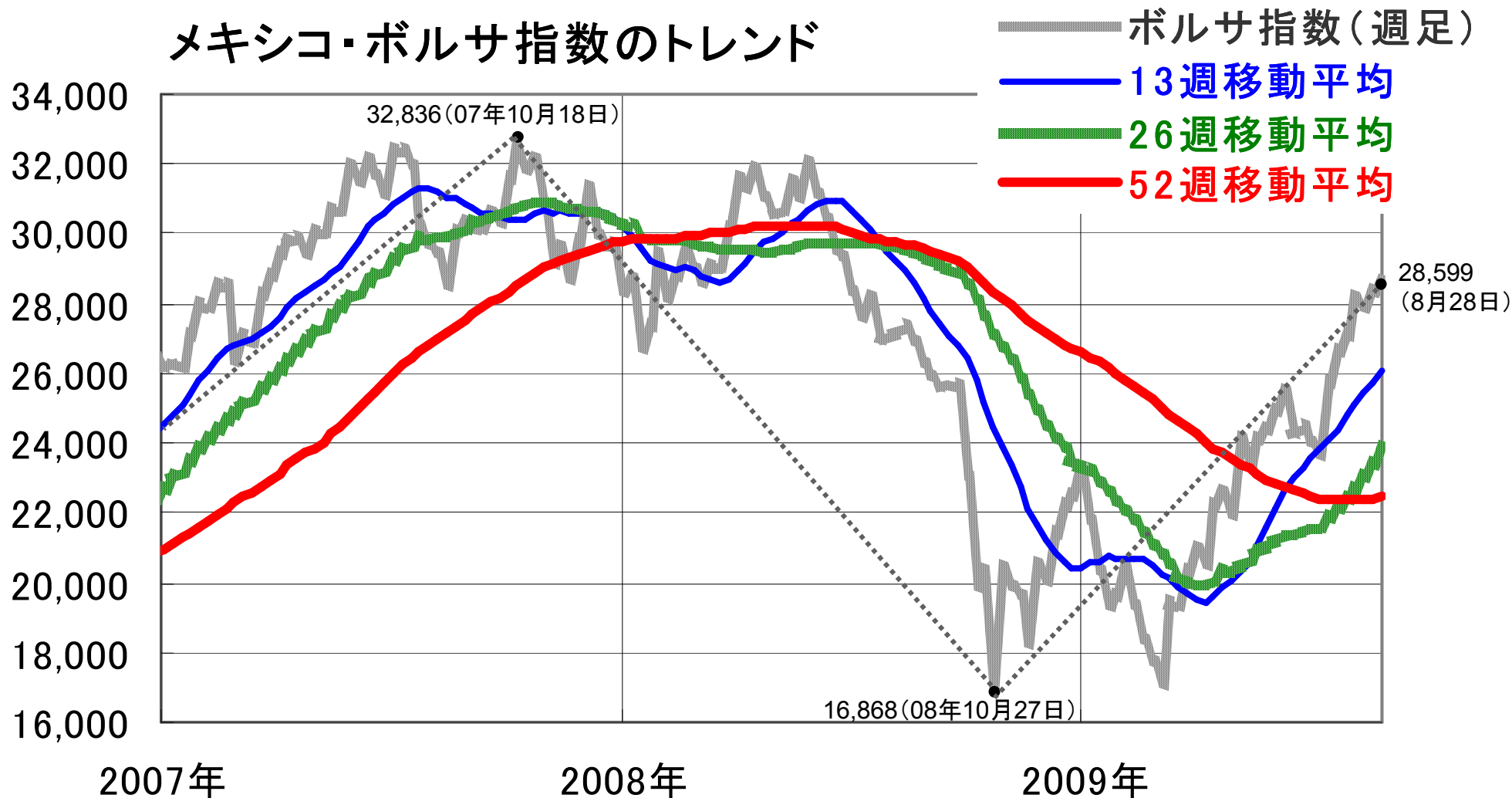
実績と市場予想平均	Q3/08年 7-9月	Q4/08年 10-12月	Q1/09年 1-3月	Q2/09年 4-6月	Q3/09年 7-9月	Q4/09年 10-12月	Q1/10年 1-3月	Q2/10年 4-6月
実質GDP(前年比:%)	1.7	-1.6	-8.0	-10.3	-6.8	-3.1	2.0	4.1
消費者物価指数(前年比:%)	5.5	6.2	6.2	6.0	5.1	4.5	4.0	3.4
中央銀行・政策金利(%)	8.27	8.34	6.79	4.86	4.5	4.5	4.5	4.5
10年物国債利回り(%)	8.41	7.99	7.81	8.2	7.77	7.67	7.93	8.1
為替相場(ペソ/米ドル)	10.94	13.67	14.17	13.19	13.15	13.00	12.73	12.60

(出所)Bloomberg

## 6. 最近のメキシコ株式市場

メキシコ株式市場は景気の回復を織り込む展開

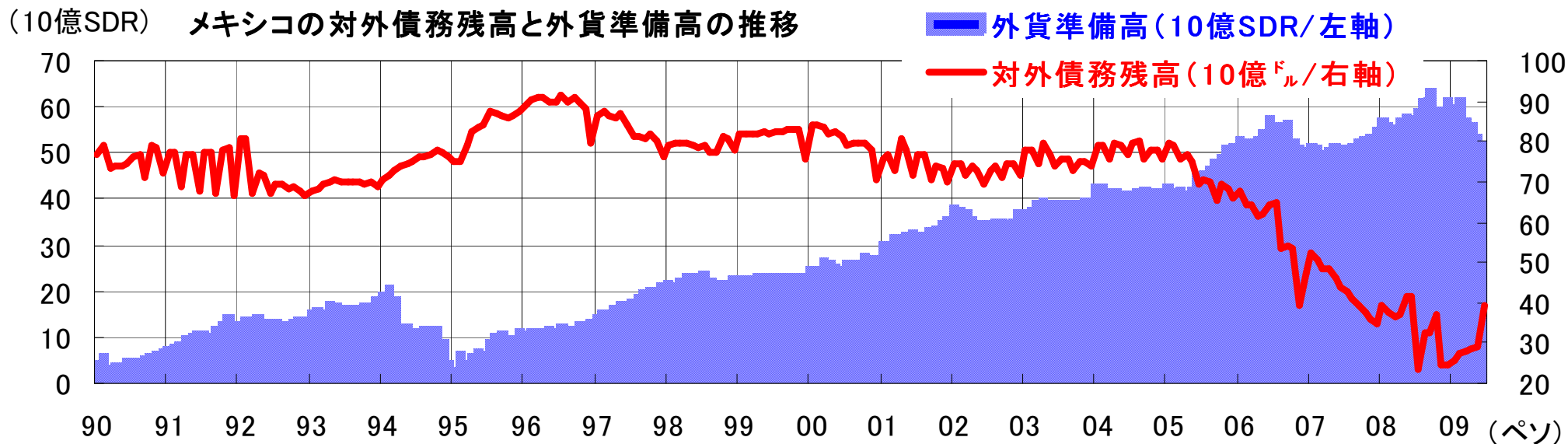
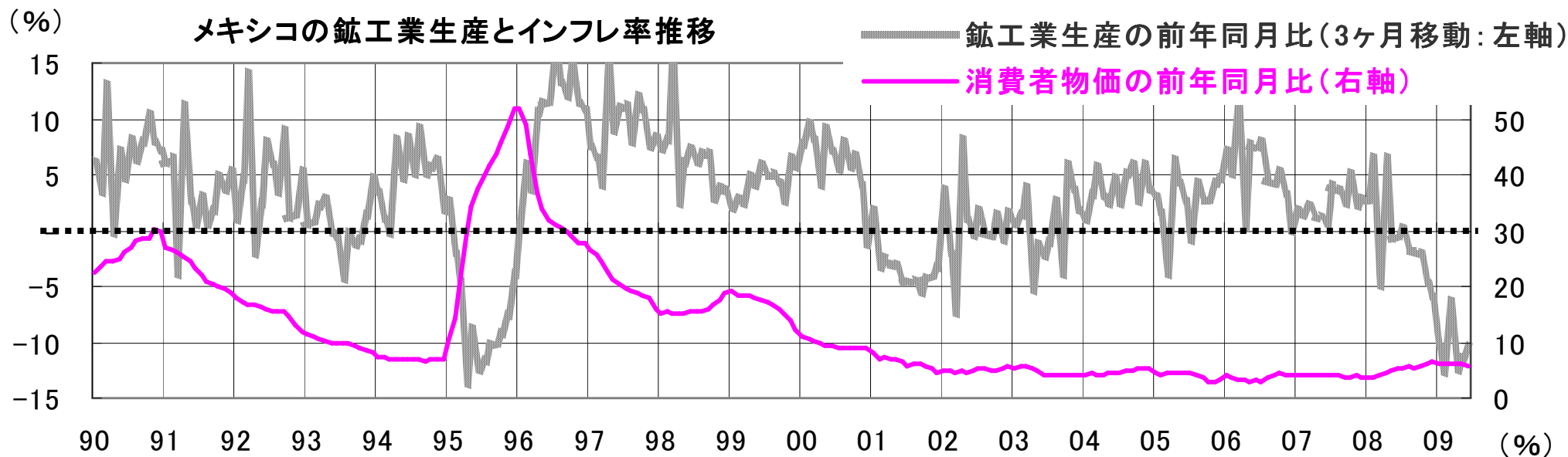
### メキシコ・ボルサ指数のトレンド



(出所) Bloomberg

# 7. 構造的ファンダメンタルズの改善

## インフレの安定、対外債務の削減、外貨準備高の増加



(出所) Bloomberg



## 8. 改善するメキシコの信用力

信用格付けはファンダメンタルズの改善を評価

S & Pによる信用格付け (外貨建てメキシコ長期債)	
1992年7月29日	BB+
1995年2月10日	BB
2000年3月13日	BB+
2002年2月7日	BBB-
2005年1月31日	BBB
2007年10月8日	BBB+

ムーディーズ信用格付け (外貨建てメキシコ長期債)	
1991年2月20日	Ba2
1998年9月3日	Ba2 -
1999年2月10日	Ba2
1999年6月21日	Ba2 +
1999年8月10日	Ba1
2000年2月2日	Ba1 +
2000年3月7日	Baa3
2002年2月6日	Baa2
2005年1月6日	Baa1

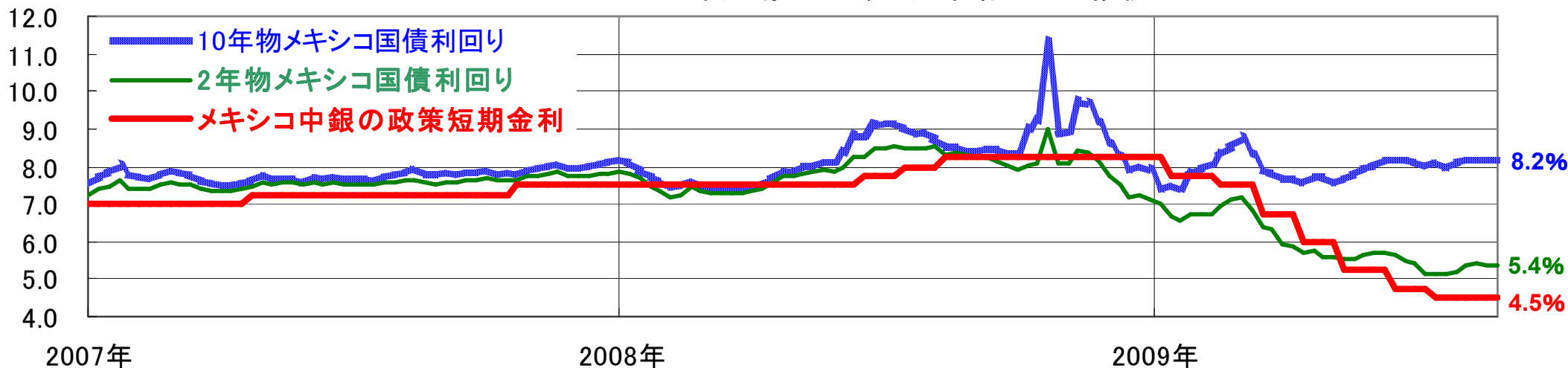
(注) S & P社の信用格付けでは「BBB」以上のレーティングが、ムーディーズの信用格付けでは「Baa3」以上のレーティングが、「投資適格級」を示します。

(出所) S&P、Moody's、Bloomberg

# 9. 最近の為替市場と金利動向

## 債券市場金利もペソ相場も今春以降は安定した動き

メキシコの政策短期金利と長・短市場金利の推移



(ペソ/米ドル)

メキシコ・ペソの対米ドル及び対円為替相場の推移

(円/ペソ)



(出所) Bloomberg

### 【世界的な金融不安再燃】

世界的な金融不安は足元で後退しているが、再び深刻化した場合は新興市場から投資資金が流出し、メキシコ経済や為替相場が影響を受ける可能性あり。

### 【米国経済の低迷長期化】

NAFTA(北米自由貿易協定)をベースに米国経済と関係が深いことは、成長要因である反面、その悪化や低迷から影響を受けやすいリスクを示す。

### 【経常収支の赤字拡大】

貿易収支の赤字を資本収支の黒字が補う。景気回復で個人消費が持ち直すと輸入が増勢となり、経常収支赤字の拡大がペソ相場に圧力をかけるリスクも。

### 【新型インフルエンザの影響】

新型インフル感染者は2万人を超え、うち死者は184人との報道(8月末)。感染拡大次第では個人消費や経済活動への影響が深刻化する可能性あり。

(注)上記はSBI証券で相対的に大きいと考えたリスク要因を例示したものです。

他のリスク要因が顕在化し、メキシコ経済や金融市場に悪影響を与える可能性もあります。

## 【本資料の免責事項・注意事項】

本情報は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。

過去の実績は必ずしも将来の成果を示唆するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。本情報は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。

本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

本案内に記載のセミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。これらの商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

# SBI証券

商号等:株式会社SBI証券(金融商品取引業者)

登録番号:関東財務局長(金商)第44号

加入協会:日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会